

吉井つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和4年度) 2022年

6	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	7	16	土	8:30	13:30	太田ヶ谷の森	17名
活動名称	太田ヶ谷里山体験会					報告者：吉井 優	

1、活動目的

令和3年4月1日にオープンした鶴ヶ島グリーンパークの自然散策エリアが太田ヶ谷の森である。ここを鶴ヶ島市内外に認知してもらうため、里山体験会を開き、多くの家族に参加してもらい、樹林地と河川の作る里山環境の心地よさを感じてもらう。

2、活動内容ほか

数日前から、近隣市町村で雨災害が発生し、外出を危惧する雰囲気が出始めていた。当日の天候も何時降り出すかも解らないという空模様だった。準備を始めた8時半ごろから雨がやみ、雨雲レーダーの予想も2時ごろまでは、雨を避けられる見込みのため、予定通り決行した。10時10分ごろに子ども3名と保護者2名が受付に訪れ、イベントを開始した。その後子どもたちは一人も来なかった。それでも竹細工、綱渡り、ハンモックを充分楽しんでもらった。昼食後、1時少し前に小雨が降り出し、1時すぎても、参加者がこないことで、イベント終了とし、片付けを始めた。

3、評価：

去年はグリーンパークが開園したばかりで知名度がないことから子ども90名の参加予定で63名の参加者だった。今年は知名度も上がり定員の90名をクリアできると意気込んでいた。いくら雨が降りそうとは言え、開催時には曇り空であり、午後に小雨があるかないかの天気予報だったのに、子どもの参加者3名は、衝撃的な出来事となった。

4、課題

子ども夢基金では、申請予定の子ども参加者の半分に満たない場合、助成金が大幅に減らされる仕組みがある。2019年の高倉里山体験会では、新町小学校を含む市内の小学校の半分が運動会を開催していたため、100名の申請に対し、45名の参加者となり謝金が半分となった。雨天決行の判断では、2018年の藤金里山体験会で、朝8時には大雨だったが、9時に雨が上がる天気予報だったため、決行し、70名の参加者であった。前回6月11日の高倉里山体験会も、いつ降ってもおかしくない空模様で決行し、74名の参加者であった。これらを踏まえると、今回決行した判断は、当然だったと思われる。日曜に延期して、半数の参加者を確保できるか自信はないが、一度試してみる価値はあるかも知れない。また、今回の参加者は、五味ヶ谷と藤金の児童であり、南小区域はゼロであった。昨年も63名のうち、17名が南小界隈の児童ということから、南小の児童に自然の楽しさを知ってもらう取り組みが必要かもという気もする。

<里山参加会員>

佐野英、大森、牛島、横手、小沼、杉山・石川、柏木、小澤邦、
小澤弘、田中、小嶋、吉井、柳川・木部、松井、鈴木

<活動写真>



たぬきを太田ヶ谷森に放す

